



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社

コード番号 4531 URL <http://www.yuki-gosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統括

(氏名) 山戸 康彦

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

TEL 03-3664-3980

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,740	0.5	△231	—	△248	—	565	—
24年3月期第2四半期	3,722	△17.7	277	98.0	237	136.4	△96	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	25.88	—
24年3月期第2四半期	△4.42	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,820	9,638	57.3
24年3月期	16,417	9,151	55.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,638百万円 24年3月期 9,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	10.9	100	△79.5	70	△84.6	650	212.9	29.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	21,974,000 株	24年3月期	21,974,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	132,827 株	24年3月期	132,407 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	21,841,423 株	24年3月期2Q	21,843,810 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などによって、景気は緩やかな回復基調にあったものの、徐々に国内景気の減速感が強まってきており、欧州の財政金融危機を背景とした長期化する円高の影響も受け、依然として先行きは不透明であり、予断を許さない状況となっております。

化学工業におきましても、原油価格および為替相場の高値定着化により収益が圧迫され、企業は一層の経営効率化及び合理化を求められるなど、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は徹底した販売推進と経費節減に努めてまいりましたが、未だ原発事故による風評被害の影響が残るなど、売上高の水準は震災前の状態までは回復しておらず、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比0.5%増の3,740百万円となりました。その結果、営業損失は231百万円（前年同期は277百万円の営業利益）、経常損失は248百万円（前年同期は237百万円の経常利益）となりました。四半期純利益につきましては、東京電力との風評被害に関する損害について合意に至ったため、賠償金が特別利益に計上されたことなどにより、四半期純利益は565百万円（前年同期は96百万円の四半期純損失）となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	平成24年3月期第2四半期累計期間				平成25年3月期第2四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	578	769	1,348	36.2	728	742	1,471	39.3
化成品関係	1,037	296	1,333	35.8	1,336	253	1,589	42.5
医薬品関係	864	176	1,041	28.0	598	81	679	18.2
合計	2,480	1,242	3,722	100.0	2,663	1,076	3,740	100.0
構成比(%)	66.6	33.4	100.0		71.2	28.8	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【アミノ酸関係】

主力製品であるアミノ酸の国内販売は前年同期に比べ増加いたしました。但し、風評被害の影響からは徐々に回復しつつあるものの、従来の売上水準には至っておらず、依然として低位に留まっております。

【化成品関係】

船底塗料用原料の国内および輸出販売ならびに農薬用原料、特殊触媒の国内販売などが増加した結果、前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

【医薬品関係】

医薬品原薬の一部製品において、当初見込んでいた販売時期が諸事情により第3四半期以降にずれ込むことなどにより、前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、つぎのとおりであります。
(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から760百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金、仕掛品の増加と受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から358百万円減少いたしました。これは主に、機械及び装置の減価償却費及び投資有価証券の評価差損による減少であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から184百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等の増加によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から268百万円減少いたしました。これは主に、社債、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産額合計は、前事業年度末から486百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益計上による増加と、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び同等物(以下「資金」という)は1,003百万円となり前事業年度末に比べ725百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は1,332百万円(前年同期は442百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益768百万円、減価償却費365百万円と売上債権の減少309百万円等による資金の増加と、たな卸資産の増加325百万円等による資金の減少との差額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は356百万円(前年同期は230百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出345百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は246百万円(前年同期は297百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済168百万円と社債の償還78百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、依然として欧州財政金融危機及び円高などの影響を受け、企業を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況が続くものと考えております。

このような情勢の中、当社は東日本大震災からの復興に区切りをつけ、新たな課題へ挑戦し、引き続き一層の収益力の改善・向上に向けて全社一丸となって取り組んでおります。

現時点における当社の平成25年3月期通期の業績予想につきましては、第2四半期会計期間に引き続き、第3四半期会計期間以降も回復基調で推移すると予想しておりますが、第1四半期会計期間で計上した落ち込みを挽回するまでには至らないと見込まれることから、平成24年5月15日に発表いたしました業績予想を修正しております。

なお、通期業績予想の詳細については、本日発表の「平成25年3月期第2四半期(累計)業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

(通期業績予想)

売上高	9,000百万円
営業利益	100百万円
経常利益	70百万円
当期純利益	650百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化が認められましたので、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	498,117	1,223,889
受取手形及び売掛金	2,923,115	2,613,399
製品	2,515,371	2,576,353
仕掛品	442,291	680,660
原材料	735,079	765,599
その他	395,319	410,204
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	7,508,996	8,269,807
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,564,138	1,543,459
機械及び装置(純額)	1,639,195	1,438,995
土地	3,151,011	3,151,011
その他(純額)	513,678	501,400
有形固定資産合計	6,868,024	6,634,866
無形固定資産	91,031	80,271
投資その他の資産		
投資有価証券	1,412,683	1,281,796
その他	537,113	553,803
投資その他の資産合計	1,949,796	1,835,600
固定資産合計	8,908,853	8,550,738
資産合計	16,417,850	16,820,545
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,163,692	1,262,935
短期借入金	2,240,000	2,240,000
1年内返済予定の長期借入金	336,000	336,000
未払法人税等	18,285	264,951
賞与引当金	77,212	122,018
その他	643,184	436,810
流動負債合計	4,478,374	4,662,715
固定負債		
社債	328,500	250,000
長期借入金	838,000	670,000
再評価に係る繰延税金負債	697,655	697,655
退職給付引当金	874,910	861,964
役員退職慰労引当金	21,500	—
資産除去債務	14,233	14,148
その他	13,029	25,701
固定負債合計	2,787,829	2,519,469
負債合計	7,266,203	7,182,185

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471,000	3,471,000
資本剰余金	3,250,140	3,250,140
利益剰余金	2,402,958	2,968,174
自己株式	△43,165	△43,253
株主資本合計	9,080,933	9,646,060
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94,506	14,148
繰延ヘッジ損益	△12,510	△10,565
土地再評価差額金	△11,283	△11,283
評価・換算差額等合計	70,712	△7,700
純資産合計	9,151,646	9,638,359
負債純資産合計	16,417,850	16,820,545

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,722,885	3,740,377
売上原価	2,798,882	3,265,769
売上総利益	924,003	474,608
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	187,802	181,894
役員退職慰労引当金繰入額	1,800	—
賞与引当金繰入額	23,075	30,867
退職給付費用	15,484	15,583
研究開発費	43,539	104,960
その他	374,591	373,269
販売費及び一般管理費合計	646,293	706,574
営業利益又は営業損失(△)	277,709	△231,966
営業外収益		
受取利息	502	437
受取配当金	16,365	16,898
雑収入	18,995	15,118
営業外収益合計	35,863	32,454
営業外費用		
支払利息	22,125	26,912
社債利息	4,506	3,354
アレンジメントフィー	39,000	13,000
雑損失	10,886	5,743
営業外費用合計	76,517	49,009
経常利益又は経常損失(△)	237,055	△248,521
特別利益		
受取補償金	—	910,656
補助金収入	—	136,194
特別利益合計	—	1,046,850
特別損失		
固定資産除却損	10,637	22,145
投資有価証券評価損	—	7,569
災害による損失	416,103	—
その他	—	300
特別損失合計	426,740	30,014
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△189,685	768,314
法人税等	△93,230	203,098
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,454	565,215

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△189,685	768,314
減価償却費	406,346	365,665
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39,325	44,806
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△51,665	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,060	△12,630
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△23,800	△21,500
固定資産除却損	10,637	22,145
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	7,569
受取利息及び受取配当金	△16,867	△17,335
雑収入	△18,995	△15,118
支払利息	26,631	30,266
雑損失	49,886	18,743
受取補償金	—	△910,656
補助金収入	—	△136,194
売上債権の増減額 (△は増加)	407,093	309,716
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△425,111	△325,142
仕入債務の増減額 (△は減少)	278,036	61,716
未払又は未収消費税等の増減額	△48,698	54,567
その他	100,628	61,214
小計	482,171	306,147
利息及び配当金の受取額	16,867	17,337
利息の支払額	△26,751	△29,726
受取補償金の受取額	—	910,656
補助金収入の受取額	—	136,194
その他	△23,026	934
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△7,211	△9,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	442,049	1,332,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△221,857	△345,864
有形固定資産の除却による支出	△6,744	△11,561
投資有価証券の取得による支出	—	△1,333
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,494	2,405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230,097	△356,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,418,000	△168,000
社債の償還による支出	△78,500	△78,500
自己株式の取得による支出	△235	△88
配当金の支払額	△588	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297,324	△246,599
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,781	△3,737
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△92,152	725,772
現金及び現金同等物の期首残高	1,004,276	278,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	912,123	1,003,889

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。